

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさまCLUB		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 9日		2025年 10月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 9月 8日		2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内外の研修開催、参加により支援方法や活動内容が充実される。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの様子から興味をもった活動があれば取り入れる。 得た情報をもとにこどもの特性に合わせた支援方法を考え、職員間で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の手立てに悩むこどもの対応について、外部からの意見を取り入れている。 支援方法を考えるためにはこども自身の情報や生活状況などのアセスメントを集めている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 公園が目の前と、近くに複数ある。 車で30分程度の範囲で、利用可能なグラウンドや体育館などがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日にちを決めて公園に行くことで、連日事業所を利用するこどもも楽しめるようにしている。 体を動かす為の活動で利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 希望者は、自由時間に発散の手立てとして公園を利用する機会を設ける。 公園での遊びをチーム戦や個人戦の体験を提供する。 事業所外へ出かけることにより、交通ルールや集団行動でのマナーを身につけられる。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢のこどもが同日に利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上級生に手本や道具出しなど役割を任せている。 ・一人っ子のこどもが異年齢のこどもと関わる機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上級生が全てするのではなく、互いに出来ることで協力するよう活動をすすめる。
---	---	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・室内で運動をする際、部屋の間取りにより活動の幅が限定される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋数が少ないが、部屋の用途を工夫している。 ・室内の段差や壁の仕切りが邪魔にならないように工夫しながら使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす時には公園やグラウンドでの活動を積極的に取り入れる。 ・活動別に分ける際は、双方の音が活動に影響しないように、活動内容を工夫する。 (例：カードゲーム/すもう大会) ・疲れたり、クールダウンしたりする際にはパーテーションで区切ったり、別室を活用したりする。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動やこどもに関して会議する時間を短時間は設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の業務担当があるためそれぞれの話を聞く時間を設けにくいですが、一日のふりかえりを短時間でも話すようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に話の場を作ることで、小さなことでも言いやすい環境にする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の近隣施設や人との交流が少ない。 ・地域行事がないことで交流機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育時間と近隣施設の開放時間（営業時間）の兼ね合いが難しいのが現状だが、放課後等デイサービスの存在を知ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集を行い、交流が可能な場があるか探していく。 ・公園や図書館などの公共機関で、地域との関わりを大事にしていく。